

—総括表—		
◆ 事業計画		
☐ 地域の現状と今後の方向性		
能見台地域ケアプラザの担当圏域は、能見台、金沢東部、金沢中部、富岡西・能見台の4地区にまたがっており、それぞれ地域住民主体の取組や特徴的な地域活動が行われている。 ケアプラザは、各地区の特性やニーズに応じて情報提供や活動支援を行うほか、地域の人材や資源を相互につなぐ役割を担っている。今後も、地域の状況をよく観察し、住民主体の活動の立ち上げや、活動継続に向けた支援に取り組んでいく。また、隣接する地域ケアプラザと情報共有し、連携して地域支援に取り組んでいく。		
☐ 今年度の重点的な取組		
新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	個別ケースの課題から出た地域課題について、地域ケア会議（協議体）などを通じて専門職や関係機関、地域住民への周知を図り、課題解決につなげていく。
☐	☒	地域が主体となった介護予防・社会参加の場が増えるようにリーダーとなる元気づくりマイスターの養成と、活動の後方支援を行っていく。（かなざわ葬斎館での健康セミナー1回/月・友引の日の開催、男性限定体操教室の拡充）
☐	☒	誰もが住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、エンディングノート、もしも手帳の他、救急あんしんカード等の普及・啓発に努める。
☐	☒	地域の活動の場に積極的に参加し、地域に多様な活動の場が増え、継続、発展していけるよう、5職種がそれぞれの視点で関わり、後方支援していく。
☒	☐	認知症の本人、家族の声に耳を傾けながら、地域や企業と連携し、チームオレンジ事業を5職種で企画、実施する。
◆ 事業報告・事業実績評価		
☐ 振り返り		
☐ 区からのコメント		